

第18回 印刷産業環境優良工場表彰

総評

第18回を迎えた印刷産業環境優良工場表彰は、一般部門、小規模事業所部門合計59工場からの応募があった。昨年は設立以来初めてとなる、2社が同時に経済産業大臣賞を受賞したが、本年は昨年のような他の模範となるレベルの工場が見当たらず、経済産業大臣賞推薦は該当工場無しとなった。

受賞工場の特徴として、環境への取り組みに対するトップの意向を従業員に浸透させ、従業員の健康を守るための職場環境の改善や、地球環境への対応も考慮した省エネ活動（温暖化防止）やVOC排出抑制（大気汚染防止）などの取り組みが行われている他、地域社会に配慮した騒音・悪臭等の対策や、社会貢献としての工場見学の開催、インターンシップの受け入れ等、環境や地域社会への対応をベースとした経営を実践している会社が多く見受けられた。

その他の会社も廃棄物の削減、GP認定品の採用や地域の環境問題への参画など、自主的な取り組みが機能して成果を上げており、今後も水平展開できるモデル事例としての活用が望まれる。

経済産業省商務情報政策局長賞

一般部門

株式会社研文社 尼崎工場

代表者名	代表取締役社長 網野 勝彦
工場所在地	兵庫県尼崎市
所属団体	全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

本工場は、2012年1月に操業開始した兵庫県尼崎市の工業専用地域にある、商業印刷物やオンデマンド印刷を行う、正規従業員46名の会社である。昨年の会長賞受賞に続いての応募であったが、2007年6月に取得したISO14001に基づいた環境活動が継続して行われており、「VOC濃度測定と排出抑制」、「騒音測定と発生源対策」、「エネルギー使用量の把握と省エネ対策」など、実績の把握と改善が継続して行われレベルアップしており、また、特色インキの種類を基準化して得意先に提案することによる廃インキの削減や、環境情報の公開、近隣の清掃等を進めるとともに、個人別の提案活動とそのフォローアップを毎月実施しており、トップから第一線の従業員まで工場が一体となって取り組んでいることは評価に値する。

これらのことから総合的に判断して、経済産業省商務情報政策局長賞に推薦するものである。

一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞

一般部門

光写真印刷株式会社

代表者名	代表取締役社長 惟村 唯博
工場所在地	東京都大田区
所属団体	全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

本工場は、1931年3月に操業開始した東京都大田区の工業専用地域にある、会社案内、カタログ、会報誌等の制作から印刷・製本加工まで行う、正規従業員63名の会社である。第15回に奨励賞を受賞して以来の応募であるが、エコアクション21の認証取得やGP工場認定等の環境マネジメントシステムを積極的に取り入れ、東京都VOC対策アドバイザー制度を活用して職場環境測定を定期的実施するとともに、VOC警報器をいち早く導入し、VOCの発生状況を把握した上で対策を実施する等、従業員の健康管理に前向きに取り組んでいる。また、GP認定品の積極的な採用や、省エネ施策の実施、環境レポートの公開を行う他、オープンファクトリーの開催等、地域に根差した活動も行われている。

その活動は意欲的・積極的であり、一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。

一般部門

足利印刷株式会社

代表者名	代表取締役 森田 公博
工場所在地	栃木県足利市
所属団体	全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

本工場は、2000年9月に操業開始した栃木県足利市にある、カタログ、パンフレット、チラシ等の商業印刷物の製造を行う、正規従業員48名の会社である。第15回に奨励賞を受賞して以来の応募であるが、「足利で一番きれいな会社」をスローガンに5Sを中心とした活動を着実に展開しており、専門家の調査・分析結果を取り入れたVOC排出抑制対策の取り組みや、使用実績を毎月フォローしながらきめ細かく省エネ対策を展開するとともに、廃棄物の削減に地道に取り組むなど、自社のスローガンに則り環境に拘った活動を進めていることが窺える。また、近隣の清掃活動や工場見学の受け入れ、工場緑化の取り組みなど地域社会への貢献も成果をあげている。

これらの活動から、一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。

小規模事業所部門

有限会社オザワ

代表者名	代表取締役 小澤 耕太郎
工場所在地	東京都荒川区
所属団体	全日本製本工業組合連合会



推薦理由

本工場は、1993年12月に操業開始した東京都荒川区の準工業地域にある、複写伝票を中心に商品券、メモ帳等の加工を行う、正規従業員12名の会社である。断裁機・折機・手加工が中心の工場であり、環境負荷は少ない業態であるが、2013年3月にGP認定工場を取得しており、「化学物質の取り扱い指示書」や「化学物質リスクアセスメントシート」を活用しながら、従業員の健康管理に配慮した活動が行われている。また、騒音・振動・悪臭対策への取り組みや、限られた敷地での花壇・菜園の設置による工場緑化の取り組み等、自社で出来ることを着実に実行し成果を上げている。

これらの活動から、一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。

小規模事業所部門

有限会社篠原紙工

代表者名	代表取締役 篠原 慶丞
工場所在地	東京都江東区
所属団体	全日本製本工業組合連合会 全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

本工場は、1995年5月に操業開始した東京都江東区の準工業地域にある、書籍、会社案内、パンフレット等の製本加工を行う、正規従業員15名の会社である。今回初めての応募であるが、社会への貢献を通じて従業員の成長を願う社長の思いを経営理念として制定し、従業員にも浸透させており、周辺の環境に配慮したVOC排出抑制や騒音対策に着手に取り組んでいる他、工場見学会での環境活動の啓蒙や、社会科見学の受け入れ等、地域に根差した幅広い活動を展開している。また化学物質についての勉強会や設備の安全講習など、従業員が安心して働ける活動が定着していることが窺える。

これらの活動から、一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。

一般社団法人日本印刷産業連合会特別賞

一般部門

オオゼキ写真印刷株式会社

代表者名	代表取締役社長 大関 邦夫
工場所在地	静岡県浜松市
所属団体	全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

本工場は、1991年4月に操業開始した静岡県浜松市の1種住居地域にある、カタログ、会社案内、パンフレット等の制作から印刷・加工まで行う、正規従業員45名の会社である。10年前にエコアクション21の認証を取得し、環境計画に基づいた活動が行われており、大気・水質・騒音・振動等の対策や省エネ活動、廃棄物の削減に地道に取り組んでいる。また、住居地域にある工場として、毎週行う工場周辺の清掃や、廃液の漏えい対応訓練等、工場周辺への対策もなされている。

比較的規模の小さい会社であるが、10年前から16ページに亘る「環境経営レポート」を毎年作成し、社内外に発信しており、環境への取り組みをベースに会社の持続的な発展と従業員の雇用確保を目指す経営者の強い意思と、それを受け止め地道に取り組む従業員との一体となった活動が行われている。

環境問題への継続的な取り組みがきめ細かく行われており、一般社団法人日本印刷産業連合会特別賞に推薦するものである。

一般社団法人日本印刷産業連合会奨励賞

推薦理由

本7工場は、環境優良に努力を払うとともに改善が認められ、特にその活動に特色があることから、その業種の特殊性や企業規模を鑑み、今後のさらなる環境改善を期待し、一般社団法人日本印刷産業連合会環境優良工場奨励賞に推薦するものである。

一般部門

株式会社ダイドー 本社工場

代表者名	代表取締役 高桑 真樹
工場所在地	奈良県生駒市
所属団体	全国グラビア協同組合連合会



八潮化学株式会社 本社工場

代表者名	代表取締役社長 小林 直人
工場所在地	茨城県守谷市
所属団体	全国グラビア協同組合連合会



マルワ工業株式会社 春日井本社工場

代表者名	代表取締役社長 吉見 正彦
工場所在地	愛知県春日井市
所属団体	全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会



小規模事業所部門

株式会社佐久印刷所 本社工場

代表者名	代表取締役社長 臼田 行孝
工場所在地	長野県佐久市
所属団体	全日本印刷工業組合連合会



株式会社文伸 BUN-SHIN FACTORY

代表者名	代表取締役社長 川井 信良
工場所在地	東京都三鷹市
所属団体	一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会



タカラ印刷株式会社

代表者名	代表取締役社長 津田 邦夫
工場所在地	神奈川県横浜市
所属団体	全日本シール印刷協同組合連合会



株式会社協和テック 本社工場

代表者名	代表取締役 浅野 貴之
工場所在地	埼玉県戸田市
所属団体	全日本光沢化工紙協同組合連合会 全日本印刷工業組合連合会

